

地区大会の思い出

会長 松井 浩明



第1日目10月21日、第2日目10月22日松江のくにびきメッセでの地区大会は、ご出席会員の皆さまと大変有意義で楽しい記憶に残る日となりました。

1日目は会長・幹事の勉強会があり、基調講演に第2840地区パストガバナーの田中久夫さまの「クラブとロータリアンの成長のために必要な4+1です。」がありました。地区大会の目的の中に、ネットワークが広がる、講演が聴ける。さまざまな話題について話し合う、地区の奉仕プログラム・プロジェクトの成功を紹介、会員の奉仕意欲を高める、ビジョンを共有する、思い出に親睦を共存するなど説明がありました。

クラブにとって大切なことは目標を作ることです。何年後にどのようなクラブになっているのか、女性会員を増やすこと、若い会員をメーキャップに連れていく、今いる会員が何年後には大活躍していただく。そのためには会員が辞めないクラブでいることです。楽しいクラブであること。楽しいものを教えてあげることです。お釈迦様の教えは、人生の師をもつ、人生の教えをもつ、人生を語り合う友をもつ。孔子は知ることよりも好きになる、好きにな

ることよりも楽しむことである。これはロータリーも同じである。ポリオ根絶に取り込むことをわかってほしい、伝えたいと思い悩みますが、私たちは幸せになるためにやっているのだと思うことで幸せだと思い、根絶に向かっていて、幸せだと思うことが大切ですと講演がありました。

国際ロータリー理事ご夫婦歓迎晩餐会に、会長幹事は全員招待されました。会場いっぱい華やかな会でした。その後は、会長幹事で2次会を行い親睦を深めました。

2日目の記念講演は作家・評論家の石平さまの「中国の経済・政治情勢と統治問題」でした。中国も少子高齢化で、経済情勢も心配があります。そして、戦争に日本が巻き込まれないことを願い、世界から戦争をなくす努力が必要です。

帰りは、会員の皆さまとバスでの帰宅をしました。車中での意見交換会は、楽しく有意義な中、無事地区大会が終わった安堵感を感じました。地区大会も成功に終わり、地区石倉ガバナーも、大変喜んでおられるでしょう。

参加した21名の会員の皆さまお疲れさまでした。



令和5年10月5日より岡山後楽園ロータリークラブに入会させていただきました、W渡辺の大きいほう、渡辺 啓介（ワタナベ ケイスケ 通称ナベ）と申します。香川県生まれの49歳。大学卒業後はゴルフ部だったこともあり、ゴルフ業界に25年間身を置いて

きました。兵庫、千葉、埼玉、北海道など、根無し草のようにいろいろな県を転々としてきましたが、38歳での結婚を期に岡山市中区原尾島に安住の地を得ました。

仕事では赤坂カントリークラブの支配人、関西・中国エリア統括マネージャーと安定した地位を確立したと思いきや、まさかの福島県から岡山県までの計12コースの運営の責任者を命じられてしまい、45歳での単身赴任命令。通常であれば出世ということで喜ばしいことですが、わが家にとっては一大事。妻は岡山県の地方テレビ局の社員のため家族そろっての転勤も難しく、渋々単身赴任することになりました。そろそろ単身赴任にも慣れ、

それなりに楽しみを見出してきた赴任2年目になんと妻が三人目を身籠りました（喜ばしいことではありますが）。妻の名誉のためにあえてお伝えしますが、妻が浮気で妊娠したわけではありませんよ（笑）。渡辺家では家族会議を何度も行い、家族との時間を優先するため、前社を退職、岡山に帰り、縁あってエムズ塗装の代表取締役として貧乏暇なしの言葉通り日々頑張っております。

自分の経歴をお伝えすると必ず言われるのが、全くの異業種だけど大丈夫？と。しかし、私の実家、親戚は塗装業を営んでおり、高校生のときにはアルバイトで働いておりました。まさか自分が塗装屋になると思っておりませんでした。そのときの経験が少しは役に立っているとは思いますが、感謝を感じます。

今後は妻と三人の娘、従業員のみなさんと厳しいながらも楽しい時間を過ごしていければと考えております。とはいえ、まだまだ未熟者でありますので、皆さま方のご指導ご鞭撻を賜れますと幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。



岡山後楽園ロータリークラブの皆さま、改めましてこの度10月5日より、松井会長・古和幹事のご推薦により岡山後楽園ロータリークラブにご入会させていただきました、渡辺雅洋（ワタナベマサヒロ）と申します。よろしくお願いいたします。

出身は新見市高尾で1984年6月7日生まれ39歳です。

家族構成は（妻）里香、（長男）一星、（次男）光星、（長女）星奈の5人家族です。子どもたちの名前には輝いた人になれるようにと、3人とも星と言う1文字を付けております。

趣味は釣りや料理です。家族もみんな釣りが好きで休みになると家族で鳥取に車中泊で釣りに行ったりして休日を満喫しております。

私は新見第一中学校を卒業し、共生高校に入学しました。

その後、塗装業に2年間程勤めて、車の免許を取得する頃に勤めていた塗装業を退社し、数年さまざまな職種を経験していた頃に先輩から数日、鳶の仕事を手伝って欲しいと頼まれ、始めたのがきっかけで現在まで足場工事に従事しております。

塗装業を始めた頃から高所はあまり得意ではありませんでしたが、現場で見る鳶職の方のカッコよさ、憧れがあったので若いなりにではありますが、必死で頑張りました。

約1年程、新見で足場工事に従事し、仕事の安定を求めて岡山に出てさまざまな会社に応援という形で関わらせていただいたのですが、元々独立願望はあったので25歳の時に個人事業主として渡辺工業を創業いたしました。26歳の時、友人の紹介で妻と出会い平成23年2月3日に入籍しました。その後、3人の可愛い子どもにも恵まれ個人事業主としても毎年業績が上がっていきなかつ平成27年9月8日に念願の会社を法人化し株式会社Wingを設立しました。

最初の数年は特に分からない事ばかりで、色々な壁にぶつかり本当に大変ではありましたが、国家資格を取得し建設業の許可を取り、現在は足場工事だけでなく解体工事、塗装工事、リフォーム、プラント工事なども手掛けております。

弊社社員の半数は新見出身になり、中学生の頃からの間柄で団結力の強さが会社の強みです。社是でもあります“報恩謝徳” “心を形にする誠実な施工”をモットーに今後も引き続き精進してまいります。

岡山後楽園ロータリークラブに入会させていただいたことで、先輩会員の方々から勉強させていただき、新しい考え方や専門知識に触れ、視野を広げ自分自身のスキルを磨いてよりよい人間、そして情熱と責任感のあるロータリー会員になり地域社会奉仕、人道活動家になれるよう努力いたします。

今後とも先輩方のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

中学生野球交歓試合

青少年奉仕委員会委員 秋山 義信

日 時：2023(令和5)年12月9日(土)午前9時～
場 所：岡山県営球場
参加者：三村重、藤原、川本、小山、居森、藤本(隆)、
荒木、秋山 以上8名

秋山投手、ふりかぶって投げた。ワンバウンドで何とかキャッチャーミットにおさまる。時は12月9日午前9時30分、岡山県営球場。快晴の青空のもと、気分は最高。

私は今年度青少年奉仕委員会に属し、年度初め藤原委員長に、「今年は是非投げたい」とお願いしたところ、「わかりました。投げてください。」との即答であった。

ところで、私は弁護士会野球部「岡山サンライズ」の部員である。といっても、部費を払いながらも、10数年練習・試合には出ていない。今回、6年前に作った背番号「66」(当時の年令)のユニフォーム上着を初めて着用して、マウンドに立った。その意味では、記念すべき始球式となった。

この日は、当クラブ主催による県下中学生4チーム(連合)対支援してますドリードプラス・県北チームによる交



歓試合。この中から、将来プロ野球選手が生まれるかもしれない。一途で、元気、はつらつなプレーに魅了された。

私にとっては、大変思い出深い県営球場(夏の高校野球県大会決勝戦での岡山東商平松と関西森安の投手戦。掛布のホームラン。そして私の野球デビュー戦etc)にて、最初で最後の始球式であった。

藤原さんには、事前にキャッチボールをしていただき、肩慣らし(10数年ぶりにボールを投げる)をした。藤原さんをはじめ、当日参加の皆さん応援ありがとうございました。

クリスマス家族会に参加して

親睦活動副委員長 菅波 洋平



今年度恒例のクリスマス家族会が12月21日(木)にアークホテルにて開催されました。

参加者は会員とご家族など総勢98名となり、コロナ感染対策の緩和後のため多くの方の御参加となりました。

1つ目のプログラムは、タップダンスで会員の芝田さんと松井会長が披露し、華麗にリズムを刻みながら踊られている姿はかなり練習されたのかなと感じられました。

2つ目のプログラムは、サウンドピースオーケストラの生演奏で元会員であった小寺さんが率いているメンバーで演奏してくださり、クリスマスムード満点で品のある演奏を聞いて心地よかったのを覚えております。

そして松井サンタさんとトナカイ(私)によるプレゼントはもらった方は皆さん喜んでおり、お子さんが喜んでいて近づく感じが良かったです。

その後はビンゴゲームがあり、参加者全員に、くじ引きでは会員全員にプレゼントがあり、皆さん大荷物でお帰りになっていただき、私もワインやチョコレートをいただ



き美味しくいただきました。

今回はコロナ前と同じ環境に戻ったので、マスクもせず、自然体で楽しく会話されており何より皆さんの笑顔を拝見することができたのが非常に良かったです。

今後もこの家族会を開催され、御家族および会員の親睦に繋がればと思います。



11月3日(金)文化の日、岡山クリニックモール音楽祭で行われた献血奉仕事業に参加しました。仕事の関係で毎週木曜日の例会になかなか参加できないため、週末に行われるロータリー活動にはできるだけ参加しようと思っています。この日は朝から参加させていただきました

したが、前日深酒していたために二日酔いで、体は大変きつかったです。今回献血車はなく、献血の啓発活動として、チラシの配布とポケットティッシュを配布しました。音楽祭には子どもからお年寄りまで幅広い層の方が参加されており、中には献血車は来ていないのかとおっしゃる方もいましたので、来年は献血車が来て、その献血を促すチラシの配布ができればいいと感じました。チラシ配りという大変地味な活動ですが、何か心が洗われるような気持ちになりました。ウィキペディアで奉仕とは「報酬を求めず、また他の見返りを要求するでもなく、無私の労働を行うこと」とあります。また無私(むし)とは「私心・我利・我欲・エゴなどの「自分のため」といった感情がない状態。またはその人自身が他を認識する為のメジャー・私的計測基準などを排除して、他の存在自体・そのもの自体を認識できる状態のこと。無私の境地で判断することによって、そのもの自体をより確実に正確に認識できるようになる。日本の禅も、この無私の境地の訓練方法の一つである。」とあります。自分自身を無私の状態に置くいい機会をいただきました。ありがとうございました。

日台交流サイクリング IN OKAYAMA

クラブ会報委員長 藤本 隆志

10月13日から18日までの予定で、台湾のサイクリスト41名が来岡されました。そのうち18名が女性。友好クラブの台北東南扶輪社からは、SteveさんとAndrewさんが来られました。岡山桃太郎空港に到着後、和気町鶴飼谷温泉に移動され、その夜は歓迎会でした。宴席は、藤原会員の同期幹事の皆さんが中心になって進行されました。翌日は、片上鉄道跡の約35キロをサイクリング。古和幹事・森杉会員も挑戦。平素のゴルフで鍛えている体力を存分に発揮していました。15日は、しまなみ海道のサイクリング。一部急坂で苦戦したものの、天気もよく、約60キロを楽しみました。この日は、光岡会員も参加し余裕をもって完走しました。

16日は、四国カルストサイクリング。私はこのコースは

初めてでしたが、標高1,500メートルの高原を走る爽快感は抜群でした。サイクリングは、この3日間でしたが、この間に広島市や高知市の観光も取り入れ充実した企画でした。

今回のサイクリングや観光は、総合プロデュースした鳥越会員の綿密な計画のもとに実施されており、その他のサイクリングスタッフとして、犬養会員、大角会員、それに藤本と息子が参加協力しました。

今回の交流を通じて、サイクリングを通じたロータリーの団結のすばらしさを感じました。また、87歳になるSteveさんの走る姿は、自転車による健康づくりの見本を示されているように感じました。





令和5年11月10日よりグアムに行っていました。目的は、グアムタモンベイロータリークラブの皆さまへ創立35周年記念のご案内と現地の日本人学校への訪問です。

わがクラブの参加者は、長谷、土井、秋山、内山、古和、蜂谷、守田、山下、犬養（順不同、敬称略）と、ご婦人とご家族の参加もありました。現地集合、現地解散で皆さんそれぞれのスケジュールで参加してくださいました。

事前情報では、今年の5月に大型台風がグアムを直撃し大変な被害を受けたとのこと。実際日本人学校のある地域は水道が復旧するのに2か月かかったそうです。観光が主の町も心なしか閑散としています。

そんな中、12日に日本人学校に訪問させていただき簡単に日本人学校の歴史や現状をお話いただき、昨年寄贈した電気時計、ワイヤレススピーカーなどに「岡山後楽園ロータリークラブ寄贈」と記したステッカーを貼らせていただきました。

＊日本人学校の詳しいお話は秋山会員が報告書を作成してくださったのでそちらを参考にしてください。

13日はグアムタモンベイロータリークラブの例会に参加してきました。あちらの例会は食事がビュッフェ形式で例会前に何となく食べ始める形式でした。卓話はマーク会員の奥さんより現地の日本人祭りのお話がありその説明の仕方が、言葉は日本語で、画像ではテロップが英語で説明してくださいました。（現地ではかなり大きなイベントでグアム人口の1/4の人数が参加するそうです。そして古和幹事が流暢な英語で創立35周年記念の案内をしてくださいました。

まだまだ書きたいことはたくさんありますが、紙面の都合で今回はこれまでとさせていただきます。

追伸：食事は値段が高くフライドポテトの量がハンパないのです。

台北東南扶輪社訪問

創立35周年記念事業実行副委員長 赤木 匠



本年3月31日の創立35周年記念式典に友好クラブである台北東南扶輪社の出席をお願いするため、11月6～8日台湾を訪問いたしました。先行到着していた大角雄三、鳥越貞成、深井豊久さんに、後から到着した土井基之さんと私を加えた5人が7日の例会に出席しました。

例会場は、官庁街の一角に立つシェラトングランド台北ホテルの地下2階。例会前に深井さんとスティーブさんとが旅行日程の打合せをし、例会の中でアンドリュウ会長から5人が紹介された後、深井さんが台北東南の会員の皆さまに出席の案内をしました。記念式典には家族も含め30名程度が来岡される予定と伺いました。

今回の訪台でびっくりしたのは、すさまじいばかりの歓待ぶり。連夜の豪華な台湾料理に加え、宴会のたびに贈られる記念品・お土産には戸惑うばかり。岡山に来られた時にどう接待すればよいのか、悩ましい。

訪問期間：2023年12月13日(水)～12月15日(金)

長谷会員、内山会員、山下会員の3名にて岡山空港より行って参りました。

長谷会員、内山会員とも韓国への訪問は、4年ぶりとお大変お久しぶりということもあり、金様との4年ぶりの再会にとっても喜ばれていました。

14日の夜にはソウル盤浦ロータリークラブの金様をはじめ、現会長の朴 振湘(パク)さん、次期会長の徐 裕景(ソ ユギョン)さん含む総勢10名(内女性3名)の方により熱烈歓迎を受けながらお食事をする事ができました。金さん、ソさん共に日本語がお上手であったこともあり、お話

もとてもスムーズにできました。また、他の会員の方については通訳アプリを使用することで沢山お話が出来ました。通訳アプリの便利なことにとても感動いたしました。

岡山後楽園ロータリークラブ創立35周年式典招待のご案内も読み上げ、現会長に招待状を渡すことができ、とても有意義な懇親会となりました。



故 宮崎雅史会員を偲ぶ会

プログラム副委員長 森谷 行利

2023年10月26日(木)、故宮崎雅史会員を偲ぶ会が会長・幹事・発起人である深井会員はじめ22名で執り行われました。突然の訃報にご家族の悲しみは如何許りかとお察し申し上げます。傷心癒えぬうちの偲ぶ会であったかと内省しております。

宮崎会員は私のスポンサーであり、本当に紳士的で何事にも熱心に取り組む、私にとっては水鏡之人でした。会長職やガバナーまで期待されていた立派な人物でした。また、楽しみにされていた茶室も完成したばかりで「人生これから」であったのに、なぜ突然きわめて稀で治療法のない病気に、と信じられない思いです。残念でなりません。

宮崎会員に恥じない活動、恥じない人生を送らなけ

ればと強く感じております。謹んでご冥福をお祈りいたします。



「妙見荘」を訪ねて

公共イメージ委員長 秋山 義信



10月7日(土)、去る8月3日逝去された宮崎雅史会員が建てた茶室「妙見荘」を16名の会員とともに訪ねた。建物内外、茶室や各室、枯山水の庭、造作などに宮崎さんの強い思い、人生感、哲学がその隅々にまで込められている。12年前に構想、設計10年、建築2年、昨年11月に完成。これから友人らと茶道を楽しみ、時には一

献傾けながら、自由気ままな時を持とうとされていた。まさに“一建入魂”、宮崎さんの人生集大成の建物である。

大広間の茶室で、お抹茶をいただく。床の間には、「凌万頃之茫然」(万(ばん)頃(こう)の茫然(ぼうぜん)たるを凌(しの)ぐ)の掛軸がある。これは、「縦一葦之所如、凌万頃之茫然」(蘇軾「赤壁の賦」より)の一文である。葦の一葉のような小舟の行くままに身を任せ、どこまでも広がる水の上を渡ってゆく、という意味。宮崎さんの人生そのものであろうか。





10月5日
新会員
歓迎会



10月29日
第77回
南警察署
管内秋季
少年剣道大会



10月29日
ポリオ根絶
合同募金
活動



10月8日
地区大会記念
テニス大会



11月23日
2RC親睦
ゴルフコンペ



12月3日
岡山後楽園
一斉清掃



10月12日
ガバナー公式訪問
地区ガバナー
石倉 貞昭様



10月26日
城東型グローバルリーダーの育成
— 岡山城東高校の目指す教育 —
岡山県立岡山城東高等学校
校長 田村 繁樹様



11月16日
幸福ランキングから見る岡山市
市議会議員
川本 浩一様



11月30日
要介護予備軍をみつける方法とその対策
— フレイル、老年症候群を識ろう! —
川崎医科大学総合老年医学
主任教授 杉本 研様



12月14日
食道癌集学的治療の最前線
— 10年の進化 —
岡山大学病院消化管外科
講師 野間 和広様



10月	
5日	今年の年になって思うこと② 10月生まれの会員
12日	ガバナー公式訪問 地区ガバナー 石倉 貞昭様
19日	米山月間に因んで 深井 豊久米山記念奨学会委員長
26日	城東型グローバルリーダーの育成 — 岡山城東高校の目指す教育 — 岡山県立岡山城東高等学校 校長 田村 繁樹様

11月	
2日	今年の年になって思うこと③ 11月生まれの会員
16日	幸福ランキングから見る岡山市 市議会議員 川本 浩一様
30日	要介護予備軍をみつける方法とその対策 — フレイル、老年症候群を識ろう! — 川崎医科大学総合老年医学 主任教授 杉本 研様

12月	
7日	年次総会
14日	食道癌集学的治療の最前線 — 10年の進化 — 岡山大学病院消化管外科 講師 野間 和広様
21日	クリスマス家族会
28日	例会取りやめ

10月	
5日	第11回理事会 アークホテル岡山
12日	創立35周年友好班打ち合わせ アークホテル岡山
12日	宮崎 雅史会員を偲ぶ会打ち合わせ アークホテル岡山
17日	岡山南口ロータリークラブメークアップツアー ANAクラウンプラザホテル岡山
17日	陳 崇發社長・黄水基元社長と 台北地区RC会員歓迎夕食会 アークホテル岡山
19日	創立35周年第3回実行委員会 アークホテル岡山
20日	地区大会記念ゴルフ大会 島根カントリークラブ
21日	地区指導者育成セミナー ホテル一畑
21日	ガバナー補佐・会長・幹事懇談会 ホテル一畑
21日	RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 ホテル一畑
22日	地区大会本会議 くにびきメッセ

26日	宮崎 雅史会員を偲ぶ会 アークホテル岡山
29日	第77回南警察署管内秋季少年剣道大会 クラレ岡山事業所体育館
29日	ポリオ根絶合同募金活動 シティーライツスタジアム
31日~ 11月8日	台北東南扶輪社訪問 台北

11月	
2日	第12回理事会 アークホテル岡山
3日	献血支援活動およびポリオ募金活動 MAK岡山クリニックモール
4日	ポリオ根絶チャリティゴルフ 瀬戸大橋カントリークラブ
9日	第9グループガバナー補佐・ 会長エレクトミーティング Zoom
9日~ 16日	グアムタモンベイRC訪問 グアム
16日	指名委員会 アークホテル岡山
23日	丸亀東RC親睦ゴルフコンペ 高松カントリークラブ

27日	県南16RC幹事会 アークホテル岡山
30日	第2回指名委員会 持ち回り・アークホテル岡山
30日	第2回ビジョン委員会 アークホテル岡山
30日	創立35周年第4回実行委員会 アークホテル岡山

12月	
3日	岡山後楽園一斉清掃 岡山後楽園
7日	第13回理事会 アークホテル岡山
9日	ドリッドプラス交歓試合 岡山県営球場
10日	次期クラブR財団委員長研修会・ 地区補助金管理セミナー 岡山コンベンションセンター
10日	榊原敬地区ガバナーエレクト 国際協議会出席壮行会・懇親会 ANAクラウンプラザホテル岡山
13日~ 15日	ソウル盤浦ロータリークラブ訪問 ソウル盤浦

編集後記

クラブ会報副委員長 福島 正春

クラブ会報委員会は年間4回の会報誌を発行しております。会報の役割は会員の皆さまにわがクラブの活動をより知っていただき、会員同士のつながりをより深め絆(きずな)をつくることだと思っています。今回も、会報の原稿作成依頼にご協力いただいた皆さまに心から感謝申し上げます。

発行 2024年2月15日
岡山後楽園ロータリークラブ

編集 クラブ会報委員会

印刷 有限会社 藤原印刷